



看護学部支部「槻の会」

目白大学同窓会看護学部支部「槻の会」が発足3年目を迎えました。現在は卒業後3～5年目(2010年卒～2013年卒)が主な役員として活動しています。本年度は会則を見直し、同窓生や先生方が集いお互いに近況報告をしたり励ましあったりできる会が開催できないかと模索中です。今年度の総会は10月26日(日)14時から岩槻キャンパス5号館にて開催予定です。また今年は新しい企画として、総会の2次会として都内での会食を予定しています。桐祭の総会后、勤務後の同窓生にも足を運んでいただきたく、大学から場所を移した新しい試みです。はがきにて看護学部同窓生の皆様にはご連絡差し上げます。みなさまのご参加をお待ちしております。



今年も開催！「ホームカミングデー」のご報告

6月5日に、卒業後1年目の同窓生(第5期生:2014年卒)を対象としたホームカミングデーが開催されました。先生方の「おかえりなさい」という温かい言葉で始まった会は、予想を大きく上回る70名以上の同窓生の参加があり、会場となった学生会館では、ともに学んだ同窓生と語り合う笑顔であふれました。「つらいことも多いけど毎日頑張っています」「患者さんに名前を呼んでもらえてうれしかったです」など、一人ひとりからの近況報告があり、看護職として歩み始めた同窓生を、先生方が在学中と変わらぬ温かい眼差しで見守っていました。

会の終了後も名残惜しそうに会場にとどまり、友人や先生方と遅くまで語りあう姿が見られました。槻の会からも3名(卒業後4～5年目)参加し、新人時代の思い出話や応援メッセージを贈り、日々頑張る後輩たちを元気づけるために焼き菓子の差し入れをしました。このホームカミングデーで多くの同窓生が明日への活力を手にしたことでしょう。槻の会から参加した3名も、参加者から元気をもらい、ホームカミングデーのような会を開催したいと決意を新たにしました。



- 1 久々の再開を果たした看護学部第5期生たち。(2014年卒)会話も笑顔も弾みます。
- 2 在学時にお世話になった先生方からのスピーチ。「おかえりなさい」の声に、同窓生も嬉しそうな表情でした。
- 3 お待ちかねの食事タイム。美味しいごはんにも囲まれながら、音楽も楽しそうです。
- 4 続いて、同窓生からのスピーチ。今の仕事状況や勤務先での成長度などを話っていました。
- 5 同窓生を出迎えてくれたOGたちから一言。皆、真剣な表情で耳を傾けていました。
- 6 楽しい時間はあっという間。名残惜しい雰囲気でしたが、明日への活力を蓄えた同窓生たちの今後の活躍に期待です！



作業療法学科支部「めじけん」



「卒業教育」、「目白大学作業療法学科のつながりを作る・保つ」、「広い意味で作業療法を考える」の3つを目的に5年前に立ち上げた「目白大学作業療法研究会(めじけん)」は、同窓会としての機能を持つために、また、より活動の幅を広げるために支部を立ち上げました。今後も定期的な勉強会を中心に、仲間に出会える・母校に帰ることができる環境を整えていきたいと思っております。

今年度は11月23日(日)に臨床クラークシップについての勉強会と総会を予定しております。詳細はホームページをご覧ください。(http://mejiken.jimdo.com/)

作業療法学科同窓会を開催しました！

学会開催中の6月20日(金)に横浜みなとみらいで作業療法学科の同窓会を開催しました。勤務後に駆けつけてくれた方や、産後間もない方、他の飲み会を早く切り上げてきてくれた先生もいらっしゃいました。総勢30名の参加となり、大盛り上がりとなりました。懐かしい先生との再会や、就職してそれぞれの職場で臨床を経験してきたからこそ話せる話題に花が咲きました。学生の時には接点のなかった先輩と後輩が出会い、会話をする場面

も見られました。また、既に目白を去られた先生にもお声掛けをし、久しぶりの再会を喜び合いました。一番の盛り上がりとなった鷺田先生のハーモニカ演奏では、みんなでカメラを向ける光景がみられました。学会に合わせて同窓会を開催するのが慣例になってきているので、今後も長く継続していきたいです。今回は横浜なので中華でしたが、次回は神戸なので、神戸牛で豪華な同窓会といきたいところです。



初めての同窓会を終えて…

同窓生をいかに集められるかが、今までもこれからも共通した課題です。同期生だけの飲み会や勉強会も大切ですが、縦のつながりがあると様々なことが見えます。作業療法の業界は非常に狭く、臨床実習、共同研究、勉強会、転職等々至るところに縁があります。まずは毎年の日本作業療法学会に参加することが大切だと思います。めじけん並びに作業療法学科支部は、アットホームな雰囲気でも活動しておりますので、多くの方のご参加をお待ちしております。



作業療法学科支部
支部長 野村健太さん
(目白大学 作業療法学科 助教)

めじけん 活動レポート

世界作業療法士連盟大会に参加してきました！

第16回世界作業療法士連盟大会は第48回日本作業療法学会と合同大会となり、パシフィック横浜にて2014年6月18日から21日に開催されました。世界66ヶ国から5,800人を超える参加があり、シンポジウム、ワークショップ、口述発表、ポスター発表が行われました。

その中でめじけんの研究チームの共同研究「An Effectiveness of Verbal Supports for Client's Motivation(意欲向上を目指した声掛けの効果)」をポスターで発表しました。演題登録の締め切りが2013年5月だったので、會田玉美教授の下、その数か月前から本格的に準備をしました。自分たちの興味あることが、他の多くの方にも共通して興味を持ってもらえるということは大変うれしく感じました。

また、次の研究に向けたアイデアや英語でのコミュニケーション力に課題を見つけることができました。4年後の南アフリカ大会で再挑戦です。

